前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏 (法人にめつ (は名称) 住					(伝人に	-めつ(I 1 — 0 0	は土にる	争兼別	かが仕	.理)		
名 日本クロージャー株式会社					所	〒 141-0022 所 東京都品川区東五反田2-18-1						
本票作成	部署名	名: 岡山工場	旦 勿									
主たる業	種っ	18 第	美種名:	プラス	チック製品	品製造業	と (別掲さ	を除く)				
事業の 概 要	プラン	スチックキャ	ィップ及び	び容器類	製造 岡山	」工場従	業員:2	07名				
	番号		工場	等の名	称			戸	斤 在	地	i	
	1	岡山工場					岡山県原	券田郡勝	势央町太	平台60	番1号	
県内の												
主 な 工場等												
上 勿 守												
			1 1 to tota									
特定事業 の該当要	7.1	①燃料等原剂									換算3,	
の該当安	(17)	●工場等の	数	-	1	•	車両台数	((2)該	当の場合)		台)
温室効果な	ブス 基	準年度 (令拜	元 元 4	年度)	(令和	1 2)年度排	出量	目標年度	夏(令和	I 6	年度)
排出量		21,	429 t C	O_2		1	l8, 159 t	CO ₂		21,	,000	t CO ₂
	番	番号 工場等の名称					(令和 2)年度排出量					
	(① 岡山工場				18, 159 t CO ₂						
主な工場												t CO ₂
の排出量												t CO ₂
	_											t CO ₂
												t CO ₂
												t CO ₂
1/d 2-4 m (am		画期間:	令和	和 2	年度	\sim	令和	П 6	年度	(5 É	箇年度)
削減目標 達成状泡		□ 総排出』	量基準	(2)年度	削減実	績	目標削減	战率	E	目標達	成
22/94/10	, .	☑ 原単位差	 基準		6. 9	%		2.0	%[✓ 達成	[□未達
(医兴华甘	温:	室効果ガスの排	非出量と密	接な関係	ぎをもつ値の	内容		原単	位当たり	排出量		
(原単位基 の削減目標	を						基準年度	Ę (2)	年度		栗年度
選択してい 場合に記入		産数量				1.	2. 910	T \	2. 709	/m >		851
						t	C02/百万值	<u> </u>	202/(百万	恒) t	CO ₂ /(百万個)
(該当事業		·記入) 対象事業の	夕 称		ベンチマー	カ投煙	目	引連数値	ī (今和	2 年	F度)	達成率等
指標の状	·	刈 多 ず 未 り	47/17			ク 1日 (示	F	見生数世	4 (T) AL	4 +	一段月月	建 灰平寺
_		1 二 弐 / 元 】										
		日己評価】 前年に対し洞	な少したな	が、 ユーテ	ィリティの省に	は活動を	を行った	結果エネル	/ギー使用	量の抑	制が、	でき、
		事が出来た		. ,	,		, –,		7 I	_ 71		- '

•	1.77.	進	- L	L . L	Lil
13	141	¬/#	± 47	Κ÷	⊭II
١.	I H		→ /-	₽-1	וינו

- ・ISO14001に基づき、工場長をトップとした管理体制のエネルギー管理及び使用の合理化を 行っている。
- ・省エネ委員会を組織し、年3回の省エネ会議を開催しエネルギー削減の方法を検討している。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

施した措置及び今後の取組】
実施した措置及び今後の取組の内容
(令和2年度実施分) ・集塵プロワの台数見直しによる消費電力削減 ・射出成形用温調機を廃止、工場チラーで代用することで消費電力削減 ・製品のプロワ搬送を廃止、コンベア搬送を行うことで消費電力削減
(今後実施予定分) ・工場冷却水設備INV導入による省エネ運転 ・工場バキュームプロワ更新、台数制御導入 ・老朽化設備をエネルギー効率の高い設備へ更新、省エネ制御導入

【森林保	全等呀	と収源対策への取組】
県内で の取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内で の取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

- ・休憩時間に事務所照明を消灯することで使用電力削減(省球啓蒙活動)
- ・居室以外でのエアコンをカレンダータイマーを使用し不要時停止を確実にした